

## 【工夫のポイント】

- 整備した堆肥センターでは、地域の未利用資源を有効活用して、堆肥を生産。
- 土層改良事業では、生産した堆肥も活用。地域資源の活用の場合となるとともに、土壌条件を改善することで、さとうきびの単収を向上。
- 堆肥センターを中心に、地域内の資源を循環し、持続可能な農業の実現に寄与。

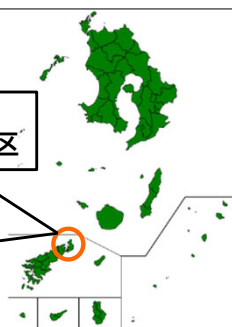
## 【取組地域の概要】

○位置  
あまみし  
鹿児島県奄美市

鹿児島県

かむ あまみほくぶ  
KAM奄美北部地区

かさりとうぶ  
笠利東部地区



- 主要作物  
・さとうきび、飼料、マンゴー、パッションフルーツなど
- 主な支援施策  
・県営畑地帯総合整備（S49～S60）  
・県営かんがい排水事業（S61～H18）  
・県営中山間地域総合整備事業（H10～H18）  
・畑地帯総合整備事業（H25～）※土層改良

## 中山間地域総合整備事業で堆肥センターを整備

- KAM（かごしま・アグリ・ミュージアム）奄美北部地区において、堆肥センターを整備。
- 家畜排せつ物や製糖工場で発生するさとうきび残さ等、産業廃棄物となる地域内の未利用資源を有効活用した堆肥を生産。



家畜排せつ物等を活用した堆肥



さとうきびの残さ

## 基盤整備

堆肥センター整備  
H12年～H18年

## 【整備前】

区画整理や水源確保、畑地かんがい施設の整備によって、地域内の整備水準は向上。一方、奄美地域は特有の重粘土壌を持ち、高温多雨であることから地力の消耗が大きく、更なる生産性向上には土づくりが必要。



地力が低下し、土づくりが必要なほ場

## 土層改良事業による土壌条件の改善

- 土層改良のため、硬化した作土の心土破碎や地力向上のための堆肥投入を行い、土壌条件を改善。



ほ場への堆肥散布



堆肥投入による土づくり

## 生産現場

## 未利用資源の活用に向けた新たな取組

- 未利用資源の更なる有効活用と飼料自給率の向上のため、さとうきびの収穫後、ほ場に落ちたハカマ等（収穫残さ）の粗飼料としての活用を検討中。



ハカマロール

## 地域の取組

## 未利用資源の循環により持続可能な農業に寄与

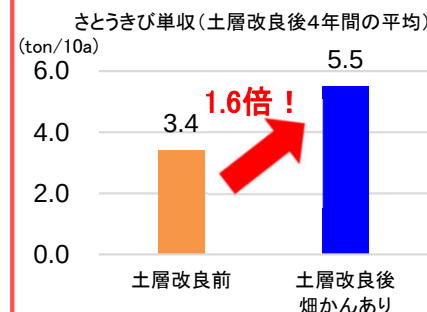
- 収穫されたさとうきびは、製糖工場に出荷し、残さは、新たな資源として堆肥の原料に活用。地域内で資源が循環し、持続可能な農業の実現や環境負荷の低減に寄与。



写真提供：富国製糖(株)

## 土壌条件の改善等により単収増

- 土壌条件の改善と畑かんの水利用効果により、さとうきびの単位当たり収量が1.6倍に増加。



土層改良実施後のほ場

出典：あまみ農業協同組合大島事業本部笠利支所及び県大島支庁調べ

# 土地改良事業を契機とした農村振興事例集

## バックナンバー (vol.1～vol.9)

- 中山間地域における優良事例集 (vol.1) (平成28年6月)
- 高収益な農業の実現に向けた取組事例集 (vol.2) (平成28年12月)
- 高収益な農業の実現に向けた取組事例集 (vol.3) (平成29年8月)
- 高収益な農業の実現に向けた取組事例集 (vol.4) (平成30年3月)
- 活力あふれる農村地域の発展事例集 (vol.5) (平成31年3月)
- 活力あふれる農村地域の発展事例集 (vol.6) (令和元年12月)
- 活力あふれる農村地域の発展事例集 (vol.7) (令和3年3月)
- 活力あふれる農村地域の発展事例集 (vol.8) (令和4年3月)
- 活力あふれる農村地域の発展事例集 (vol.9) (令和5年3月)

➤ バックナンバーについても、農林水産省HPで公表しています！  
(公表先URL)

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/kousyueki-zirei.html>



QRコード

**【お問合せ先】**

農林水産省農村振興局整備部設計課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL : 03-3502-8695 (直通)

FAX : 03-5511-8251